

医療薬学研究室

Medical Pharmaceutics

教授	藤 秀人	Hideto To
准教授	辻 泰弘	Yasuhiro Tsuji
助教	岡崎 史泰	Fumiyasu Okazaki

◆ 著 書

- 1) 藤 秀人. 時間治療学 変形性関節症 関節リウマチ. 藤村昭夫編. 東京: 日本医事新報社; 2014. p. 82-90.
- 2) 藤 秀人, 牛島健太郎. 時間治療学 悪性腫瘍. 藤村昭夫編. 東京: 日本医事新報社; 2014. p. 65-81.

◆ 原 著

- 1) Yoshimatsu H, Okazaki F, Ieiri I, To H. Mechanism of the 24-hour rhythm of tumor necrosis factor-alpha formed by onset of rheumatoid arthritis. *Chronobiol Int.* 2014 May; 31(4): 564-71.
- 2) Nishimura T, Yagi R, Usuda M, Oda K, Yamazaki M, Suda S, Takahashi Y, Okazaki F, Sai Y, Higuchi K, Maruyama T, Tomi M, Nakashima E. System A amino acid transporter SNAT2 shows subtype-specific affinity for betaine and hyperosmotic inducibility in placental trophoblasts. *Biochim Biophys Acta.* 2014 May; 1838(5): 1306-12.
- 3) Okazaki H, Matsunaga N, Fujioka T, Okazaki F, Akagawa Y, Tsurudome Y, Ono M, Kuwano M, Koyanagi S, Ohdo S. Circadian regulation of mTOR by the ubiquitin pathway in renal cell carcinoma. *Cancer Res.* 2014 Jan 15; 74(2): 543-51.
- 4) 福森史郎, 藤井英太郎, 藤田 聡, 杉浦伸也, 村木優一, 岩本卓也, 辻 泰弘, 藤 秀人, 伊藤正明, 奥田真弘. 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の血漿中ペプリジル濃度と心房細動再発予防との関連性. *TDM 研究.* 2014; 31(2): 62-8.

◆ 学会報告

- 1) 佐々木翔, 夏井裕子, 仲山隆太, 藤 秀人, 福田 勉, 石橋郁人, 岩尾正倫. 高活性トポイソメラーゼ I 阻害剤 BBPI の水溶性誘導体の設計・合成・評価. 第 32 回メディシナルケミストリーシンポジウム; 2014 Nov 26-28; 神戸.
- 2) 瀬戸祥弘, 嶋村浩太郎, 高瀬美幸, 佐々木均, 辻 泰弘, 藤 秀人. Influence of dosing time on cisplatin-induced peripheral neuropathy in rats. 第 21 回日本時間生物学会学術大会; 2014 Nov 8-9; 福岡.
- 3) 松永直哉, 岡崎史泰, 東 宏樹, 藤 秀人, 小柳 悟, 大戸茂弘. マウス結腸がん細胞内鉄 (Fe) 量の日周リズム制御機構の解明. 第 21 回日本時間生物学会学術大会; 2014 Nov 8-9; 福岡.
- 4) Seto Y, Shimamura K, Takase M, Sasaki H, Tsuji Y, To H. Influence of dosing time on cisplatin-induced peripheral neuropathy in rats. *International Symposium by JSC in 2014;* 2014 Nov 7; 福岡.
- 5) Matsunaga N, Okazaki F, Azuma H, To H, Koyanagi S, Ohdo S. The molecular clock in colon 26 tumor-bearing mice post-transcriptionally regulates the circadian rhythm of iron. *International Symposium by JSC in 2014;* 2014 Nov 7; 福岡.
- 6) 芦澤信之, 河合暦美, 鳴河宗聡, 辻 泰弘, 山本善裕. Therapeutic drug monitoring を施行したダプトマイシンの治療経験. 第 62 回日本化学療法学会西日本支部総会; 2014 Oct 23-25; 岡山.
- 7) 辻 泰弘, 湯川栄二, 平木洋一, 太田幸雄, 山本善裕, 藤 秀人. 腎機能障害患者 (成人) におけるリネゾリドの母集団薬物動態解析と臨床検証. 第 24 回日本医療薬学会年会; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 8) 三浦布紗子, 木村修徳, 永野真久, 安森奈緒子, 井上大奨, 平木洋一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 河野文夫. 感染防止対策に対する加算区分と職員の満足度の検討. 第 24 回日本医療薬学会年会; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 9) 曾根本恵美, 紙谷友里子, 溝口晶子, 辻 泰弘, 藤 秀人. 関節リウマチに対するトシリズマブ皮下注製剤の有効性に関する検討. 第 24 回日本医療薬学会年会; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 10) 芦澤信之, 河合暦美, 田代将人, 鳴河宗聡, 辻 泰弘, 藤 秀人, 山本善裕. 薬物血中濃度モニタリングを用いたリネゾリドでの治療経験. 第 5 回 MRSA フォーラム; 2014 Jul 12; 東京.

◆ その他

- 1) 藤 秀人. 生体リズムを基盤とした抗リウマチ薬の至適投与法の構築. 臨床薬理研究財団賞学術奨励賞; 2014 Dec 4-6; 愛媛.

- 2) 藤 秀人. 薬学的視点からみた関節リウマチの薬物療法～時間薬物療法の応用を目指して～. 岐阜県病院薬剤師会 学術講演会; 2014 Dec 20; 岐阜.
- 3) 藤 秀人. 地域医療における薬剤師の役割. 第 24 回日本医療薬学会年会 シンポジウム; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 4) 辻 泰弘. 「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (JPHCS) の発刊: 投稿のススメ」. 第 24 回日本医療薬学会年会 シンポジウム; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 5) 辻 泰弘. 腎機能障害患者 (成人) におけるリネゾリドの母集団薬物動態解析と臨床検証. 第 24 回日本医療薬学会年会優秀演題賞; 2014 Sep 27-28; 名古屋.
- 6) 藤 秀人. クスリのポテンシャルを引き出すための投与方法を薬剤師から提案する～時間薬物療法のススメ～. 第 30 回名古屋市立大学薬学部卒後教育講座; 2014 Sep 7; 名古屋.
- 7) 辻 泰弘. 日本 TDM 学会第 41 回セミナー代表世話人; 2014 Sep 7; 富山.
- 8) 藤 秀人. 生体リズムを考慮した関節リウマチの薬物療法. 第 11 回宮崎膠原病リウマチ治療研究会; 2014 Jun 25; 宮崎.
- 9) 辻 泰弘. 応用確率論による熱傷患者のへの至適投与. ファルマシア. 2014; 50(6): 576.
- 10) 辻 泰弘. TDM 初心者のためのハンズオンセミナー. 第 31 回日本 TDM 学会・学術大会 講演およびレクチャー; 2014 May 30-31; 東京.
- 11) 辻 泰弘. 抗 MRSA 薬の新旧 5 剤における TDM の必要性を検証するー病態変化に応じたモニタリングの実践ー. 第 31 回日本 TDM 学会・学術大会 特別講演; 2014 May 30-31; 東京.
- 12) 辻 泰弘. 薬剤師が主導する臨床研究を考えるー多施設共同研究のキーポイントー. 平成 26 年度長崎県病院薬剤師会 特別講演; 2014 May 17; 長崎.